

学校支援を積極的に進める

## 地域・保護者と協力し、学校支援を行うPTAを目指して

日進市立南小学校PTA

### 1 はじめに

本校は、名古屋市・豊田市のベッドタウンとして新興住宅やマンションも多くある日進市南部に位置している。児童数は今年度までは増加傾向で、現在在籍は1,051名である。次年度は校区変更に伴い隣接の梨の木小学校に移る児童がおり、900名程になる予定である。地域を愛する古くからの地元居住者と転居者混在の中、保護者の教育への関心は高く、本校の教育方針や教育活動に大変協力的である。PTAの役員・委員だけでなく、地区の防災会・見守り隊による交通ボランティア、そして一昨年度より地域学校協働本部の活動がスタートした図書ボランティア（38名）・花ボランティア（2



【日進市立南小学校校舎】

1名）から、意欲的な支援をいただいている。昨年度、創立50周年の節目を迎えた南小学校の教育活動は、今後もこれらの積極的な学校支援なくしては語れないと感じている。

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

子どもたちの健やかな成長を願うのは、家庭も地域も学校も皆同じである。そこで、家庭・地域・学校が連携し、「おらが学校」である南小学校の教育活動を盛り上げようと積極的に取り組んでいる。

コロナ禍の大きな制限を強いられた数年を経て、南小学校PTAもその在り方や活動の仕方に向き合わなくてはいけなくなっている。「できることをできる範囲で持続できるPTA活動」という意識をもちながら、親子や地域の方と触れあう場を設け、保護者同士や地域の方と情報交換をすることが子育てを楽しめる一助となり、さらに、学校のため、我が子、地域子どもたちのために支援をしていこうという気持ちが育つような活動を進めていきたい。

#### (2) PTAの組織

PTA役員10名、委員31名の計41名で構成されており、委員は、研修部・広報部・厚生部・校外部の4つの部のいずれかに所属している。研修部は保護者が「子育て中、今知りたいこと」の研修等の企画・運営、広報部はPTA新聞の発行、厚生部は給食試食会の企画・運営、校外部

は家庭教育推進協議会との連携をそれぞれ担ってきた。また、地域学校協働本部の活動とも協力しながら活動していく。「できることをできる範囲でできる人が」という観点で、各部の枠をなくしたり、家庭教育推進協議会や地域学校協働活動をされる方々と協力したりするなど、持続可能な活動を目指していこうと前向きに検討中でもある。

### 3 実践活動の概要

#### (1) 50周年で強まったつながりを大切に

##### ① 「50周年記念花壇」

本校の正門を入ってすぐ目に飛び込んでくるのは「50周年記念花壇」である。きっかけは「草が生え放題だけれど、何とか整備できるといいね。お手伝いしたいんだけど」という、元PTA会長で常々南小学校を気にかけてくださっている地域の方の言葉であった。

PTA会長の呼びかけでPTA、歴代PTA会長、地域学校協働活動の花ボランティア、本校の園芸委員会の児童が「50周年記念花壇」完成に向けてコラボレーションすることが決まった。何年前からか鎮座していた何かのモニュメントと思われていた巨大な流木の撤去、除草作業、大きな石が埋まってでこぼこだった地面の整地が、まず行われた。花ボランティアの指導の下、園芸委員会の子どもたちが花壇のデザインを考え、それに合う花を花ボランティアの皆さんが選んだ。50周年記念学習発表会の日にお披露目ができ、参観の帰りに黄色のパンジーを寄せ植えた「50」の文字が入るように写真を撮る保護者が多く見られた。

今年度は創立51周年。パンジーの文字は「51」となり、活動は続いている。花ボランティア、有志の保護者が「できるときにできる人が」を合い言葉に草抜きや苗植えなどの花の手入れに励んでくださっている。休み時間に花壇に水やりに来る園芸委員会の子どもたちは「(数字が)『100』まで続くといいな。自分が大人になって南小に来たとき数字は何になってるかな」とうれしそうに語っている。



【50周年記念花壇】



【園芸委員会児童と苗植え】



【ありがたい地域の支援】

## ② 「除草作業」

運動場、中庭、裏庭、校地に面した通学路など、南小校地内外は緑で囲まれている。年に一度の市委託の業者による草刈り、職員が時間を見つけての除草・草抜きなどはするものの、夏場などはとても追いつかないのが現状である。

前述の元PTA会長が現PTA会長の相談を受け、校区の区長の方々に声をかけてくださり、実施に至ったのが50周年記念花壇完成に向けての除草に併せた校地内外の大がかりな除草作業であった。昼は暑くなるため、早朝からの作業であったが地域・PTA合わせて総勢40名ほどが集まった。草が生え放題だった中庭、手つかずだった裏庭などが2時間ほどですっきりとした安全な校庭となった。地元のケーブルテレビの取材を受け、区長が「おらが学校だからね。大事にしたいよね」と語ってくださったのはうれしいことであつた。

地域の方による除草作業は3月にも行われ、今年度に入っても行われている。区長さんは「せっかく関係が始まったことだし、今後何か困ったことがあったら遠慮せずに声をかけてね」とおっしゃってくださっている。地域の方々と学校・PTAのコラボレーションは今後も続けていきたい。

PTAの活動としても毎年「PTA親子除草」を行っている。昨年度まで校外部が企画運営していたが、今年度はPTAの部の枠を超え、PTA委員が「できるときに」企画をし、「できる人が」当日の運営に携わった。

除草作業は1時間ほど。それでも、1,051人の児童+保護者+花ボランティア+教職員の力で、集まった草の量に子どもたちや保護者から歓声が上がった。トラックで学校から美化センターまで3往復するほどの除草ができたことと、作業後のご褒美のジュースで子どもたちも満足気であった。

## (2) 持続可能なPTA活動を目指して

### ① 「あいさつ運動」

月に一度、一週間行うあいさつ運動は、児童会のあいさつ運動と併せ、PTA会長が毎回保護者に呼びかけて行っている。以前は校外部が企画・運営をして地区委員でもあるPTA委員に参加を呼びかけて



【時間を見つけ除草する地域の方】



【PTA親子除草】

いたが、部の枠を超えて、さらに保護者全体に呼びかけ、活動を広げる努力をしている。保護者は学校まで来なくても、自宅近くの通学路や分団の集合場所で行うなど、できる範囲の協力をお願いしている。

② 「通学路の安全を目指して」

毎年、地区委員も兼ねるPTA委員が通学路を点検し、保護者や地域住民からも危険箇所として指摘されている箇所の安全確保について市に要望を提出している。区長要望も提出していただき、PTAと地域で子どもたちの安全確保のために協力しながら活動を進めている。この運動を進めていくにあたり、多くの保護者が通学路の安全について意識を高めることができている。



【あいさつ運動と見守り】

③ 「各種研修会」

「子どもがどんな給食を食べているか知りたい」「育ち盛りの子どもたちの食について学びたい」という声に応じて厚生部が企画・運営をしたのが「給食試食会」である。学校運営サポートシステム「コドモン」で1年生保護者を対象に参加を募った。給食センターから栄養士の先生を招き、「子どもの食の安全を守ろう」をテーマに研修会を行った。熱心に聞き入る保護者の姿や、「久しぶりに食べる、おいしい」と笑顔で食べる保護者の姿が印象的であった。



【給食試食会】

「小学校の英語って何をやっているのか知りたい」という声に応じて研修部が企画・運営をしたのが「レッツ エンジョイ イングリッシュ研修会」である。ライン公式アプリ「ハイアプリ」を使い希望者を募った。南小学校英語専科教諭を講師とし、当日は保護者が授業を受ける児童役になったり、授業で使用する授業ソフトやICT機器を体験したりするなど、時には笑い声上がるまさに「エンジョイ」できる楽しい研修となった。研修が終わった後も参加者から寄せられた質問に答える講師の先生の言葉を熱心にメモをする委員の姿があった。



【小学校英語についての研修会】

#### 4 おわりに

子どもたちは家庭と学校、そして地域の中で、さまざまな支援を受けながら成長する。コロナ禍、50周年という二つの節目を経て、南小のPTA活動も見直しの時期にきていると感じる。家庭・地域、様々な方の温かいご支援やご理解を得ながら、持続可能なPTA活動を展開していきたい。